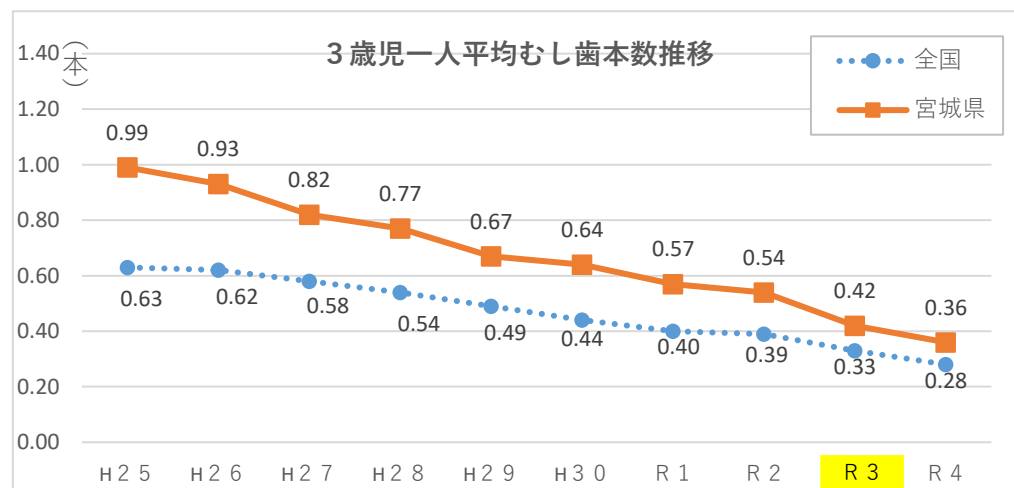


## 第3期宮城県歯と口腔の健康づくり基本計画の達成指標の進捗状況について

### 妊産婦期・乳幼児期

(概ね5歳まで)

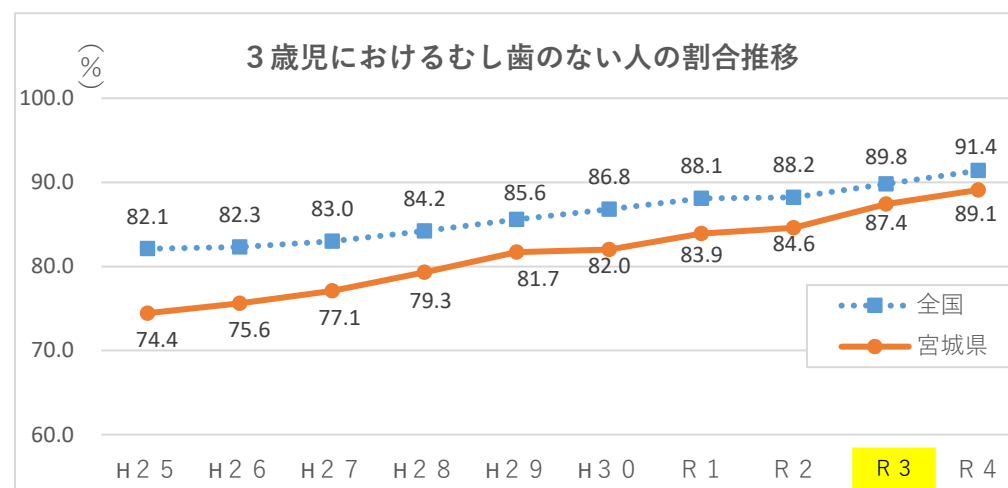
達成指標	第3期ベースライン値	現状値 (最新値)	目標値	備考
3歳児の一人平均むし歯本数	0.42本 (R3)	<b>0.36本 (R4)</b>	0.2本 以下	地域保健健康増進事業報告 (厚生労働省)



※黄色 第3期宮城県基本計画策定時における現状値の年度(以下同じ)

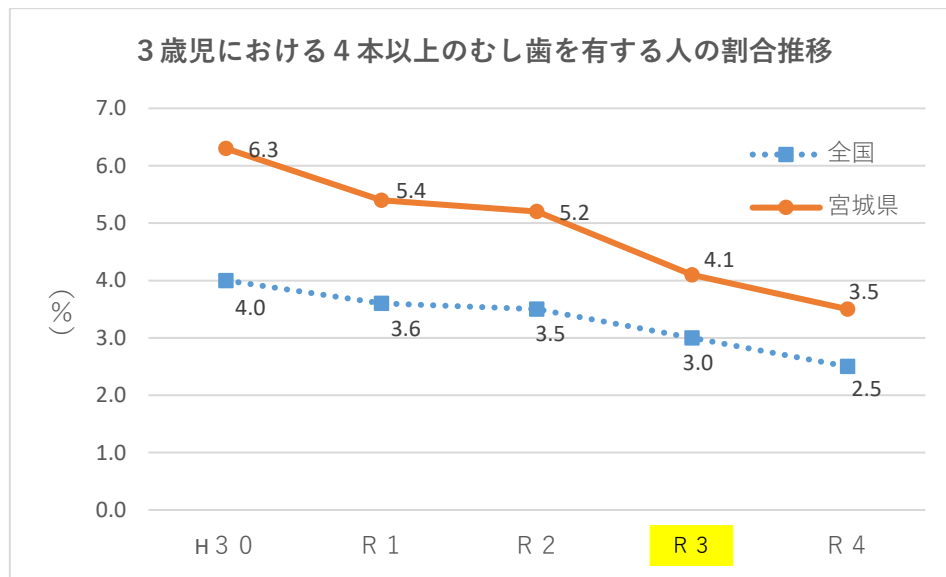
- ◆ 本県の3歳児一人平均むし歯本数は、令和4年度調査結果では0.36本となり、年々減少している。
- ◆ 市町村の乳幼児健診や歯科保健指導、フッ化物応用等の取組により、着実にむし歯本数は減少している。
- ◆ 一方で、全国平均を下回る状況が続いており、更なる取組が必要である。

達成指標	第3期ベースライン値	現状値 (最新値)	目標値	備考
3歳児におけるむし歯のない人の割合	87.4% (R3)	<b>89.1% (R4)</b>	90%以上	地域保健健康増進事業報告 (厚生労働省)



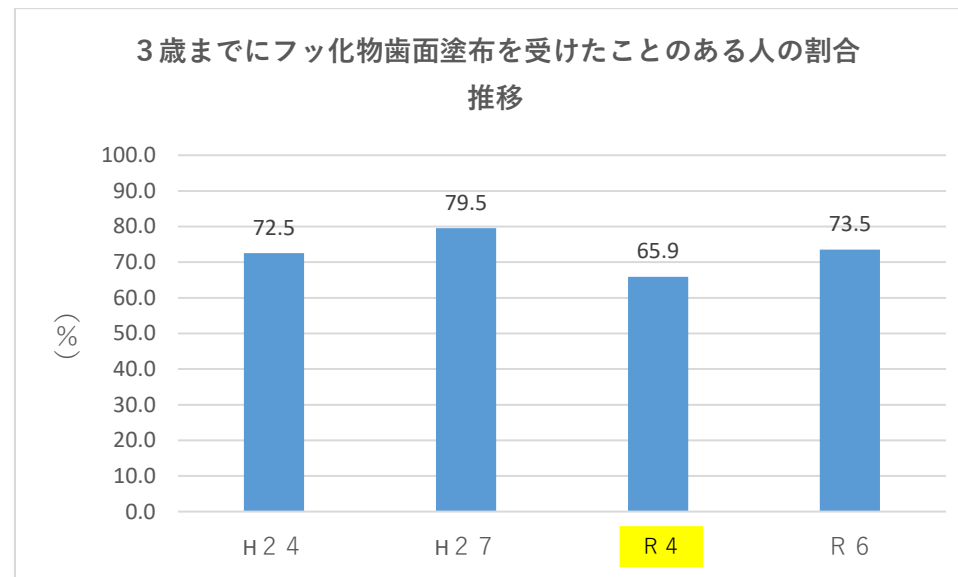
- ◆ 本県の3歳児におけるむし歯のない人の割合は、令和4年度調査結果では、89.1%となっており、年々増加している。
- ◆ 市町村の乳幼児健診や歯科保健指導、フッ化物応用等の取組により、着実にむし歯本数は減少している。
- ◆ 一方で、全国平均を下回る状況が続いており、更なる取組が必要である。

達成指標	第3期ベースライン値	現状値 (最新値)	目標値	備考
3歳児における4本以上のむし歯を有する人の割合	4.1% (R3)	3.5% (R4)	0%	地域保健健康増進事業報告 (厚生労働省)



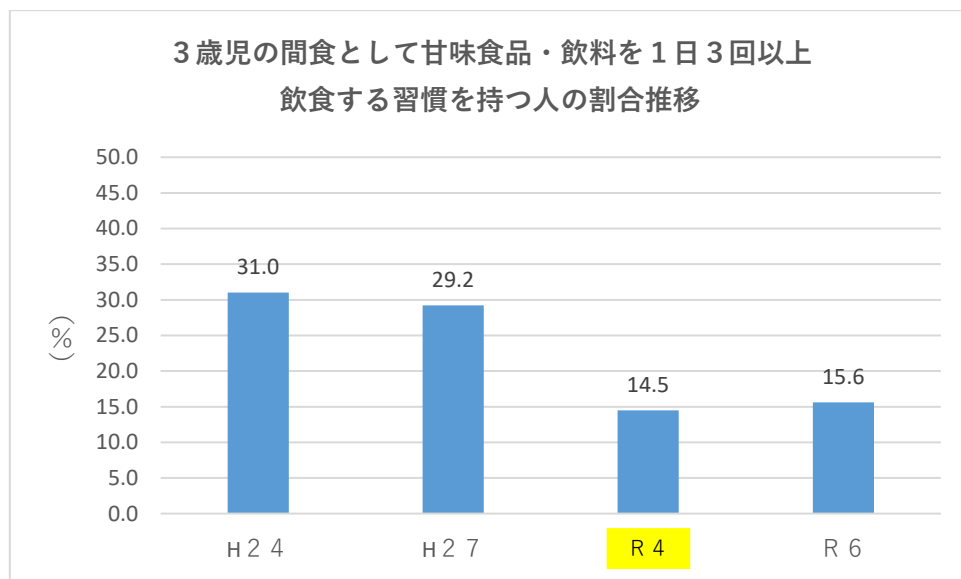
- ◆ 第3期宮城県歯と口腔の健康づくり基本計画より新たに追加された達成指標
- ◆ 毎年減少しているが、全国平均を下回る状況が続いており、更なる取組が必要である。

達成指標	第3期ベースライン値	現状値 (最新値)	目標値	備考
3歳までにフッ化物歯面塗布を受けたことのある人の割合	65.0% (R4)	73.5% (R6)	85%以上	幼児における歯科保健行動調査 (宮城県)



- ◆ 令和4年度と令和6年度の比較では、フッ化物歯面塗布を受けたことのある人の割合が7.6%増加している。
- ◆ 新型コロナウイルス感染症の影響によりフッ化物歯面塗布を受ける機会が得にくかった状態が解消しつつあることが要因として考えられる。

達成指標	第3期ベースライン 値	現状値 (最新値)	目標値	備考
3歳児の間食として甘味食品・飲料を1日3回以上飲食する習慣を持つ人の割合	14.5% (R4)	<b>15.6% (R6)</b>	10%以下	幼児における歯科保健行動調査 (宮城県)

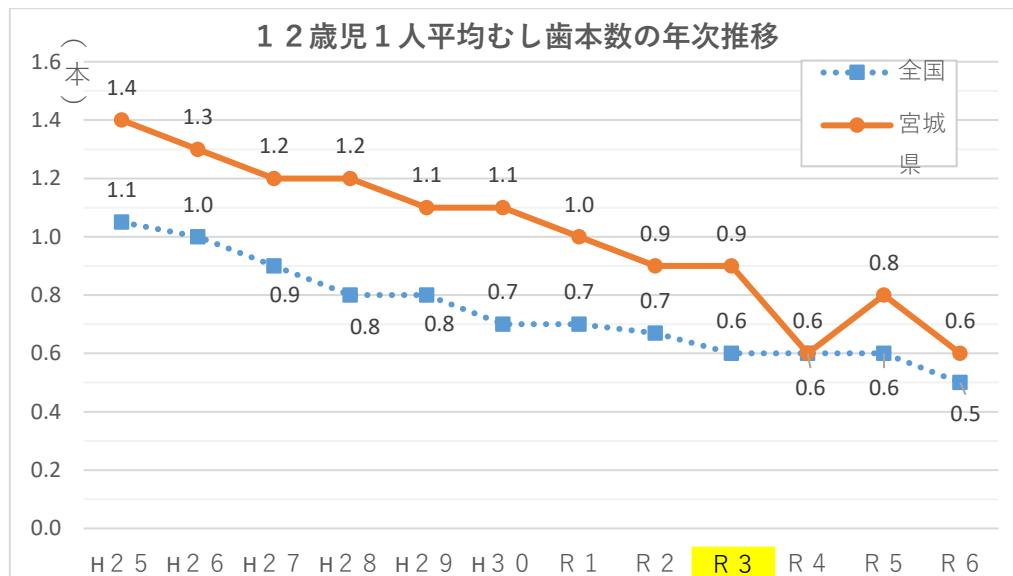


- ◆ 令和4年度と令和6年度の比較では、3歳児の間食として甘味食品・飲料を1日3回以上飲食する習慣を持つ人の割合が1.1%増加した。
- ◆ 一定の改善が見られていたが、令和6年度は前回より微増となったため、引き続き啓発に取り組んでいく必要がある。

## 少年期

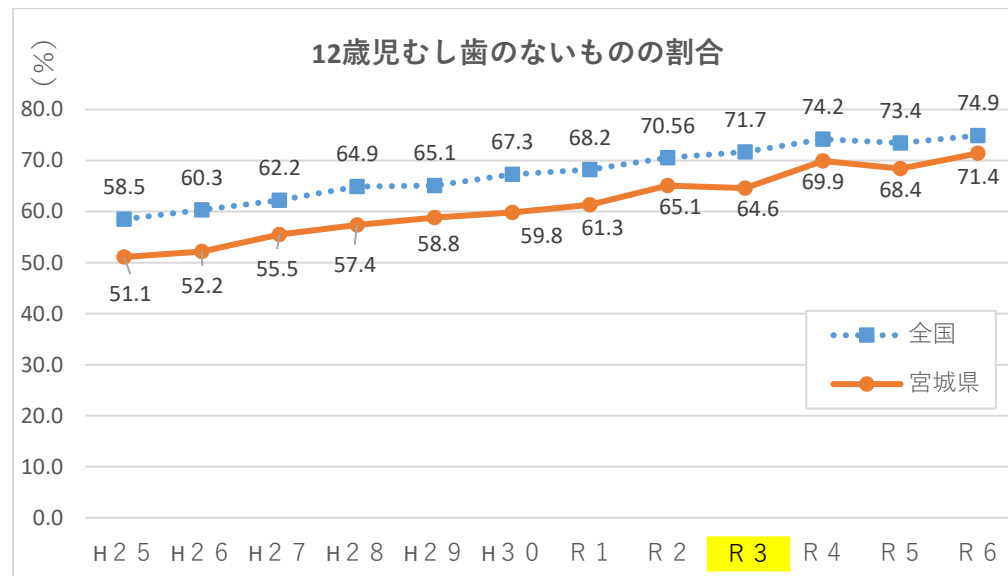
(概ね6歳から14歳まで)

達成指標	第3期ベースライン値	現状値 (最新値)	目標値	備考
12歳児の一人平均むし歯本数	0.9本 (R3)	0.6本 (R6)	0.6本以下	学校保健統計調査 (文部科学省)



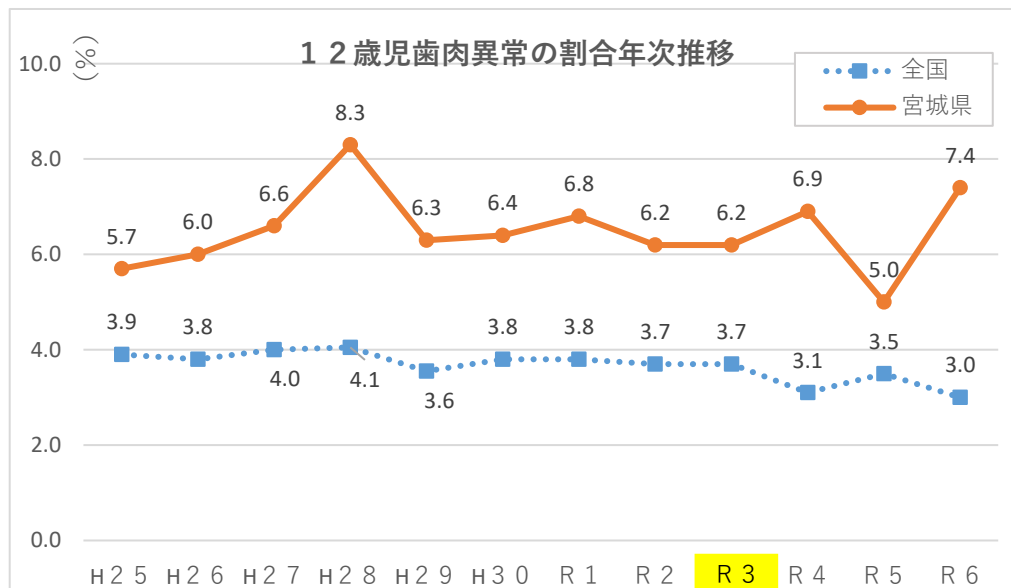
- ◆ 本県の12歳児一人平均むし歯本数は、令和5年度調査結果では微増となったものの、長期的には着実に減少しており、令和6年度調査結果では減少した。
- ◆ 全国平均を下回る状況が続いており、フッ化物洗口の導入に向けた市町村支援など更なる取組が必要である。

達成指標	第3期ベースライン値	現状値 (最新値)	目標値	備考
12歳児におけるむし歯のない人の割合	64.6% (R3)	71.4% (R6)	85%以上	学校保健統計調査 (文部科学省)



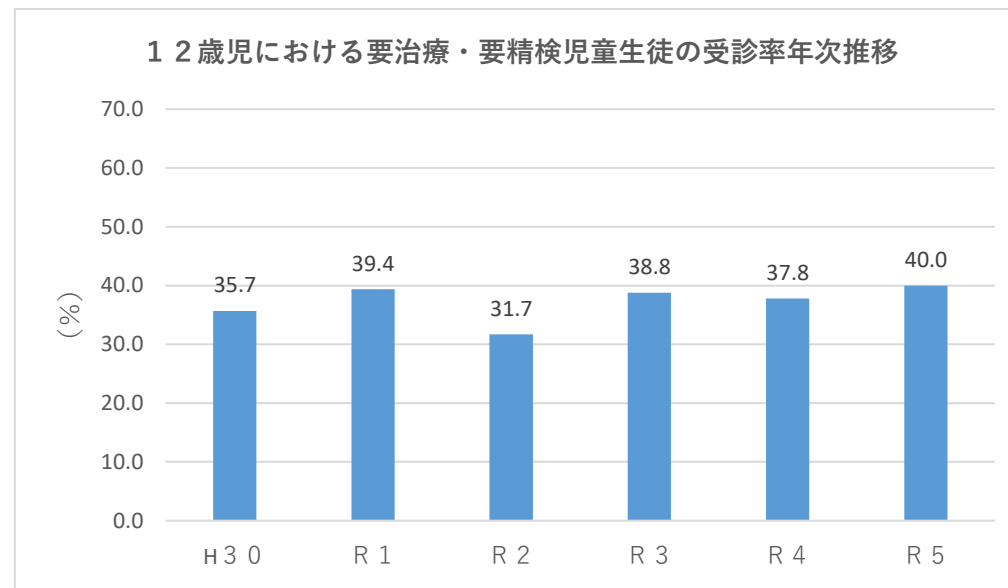
- ◆ 本県の12歳児におけるむし歯のない人の割合は長期的には増加しており、令和5年度調査結果では減少となったものの、令和6年度調査結果は増加となった。
- ◆ 全国平均を下回る状況が続いており、フッ化物洗口の導入に向けた市町村支援など更なる取組が必要である。

達成指標	第3期ベースライン値	現状値 (最新値)	目標値	備考
12歳児における歯肉に異常のある人の割合	6.2% (R3)	<b>7.4% (R6)</b>	4.1%以下	学校保健統計調査 (文部科学省)



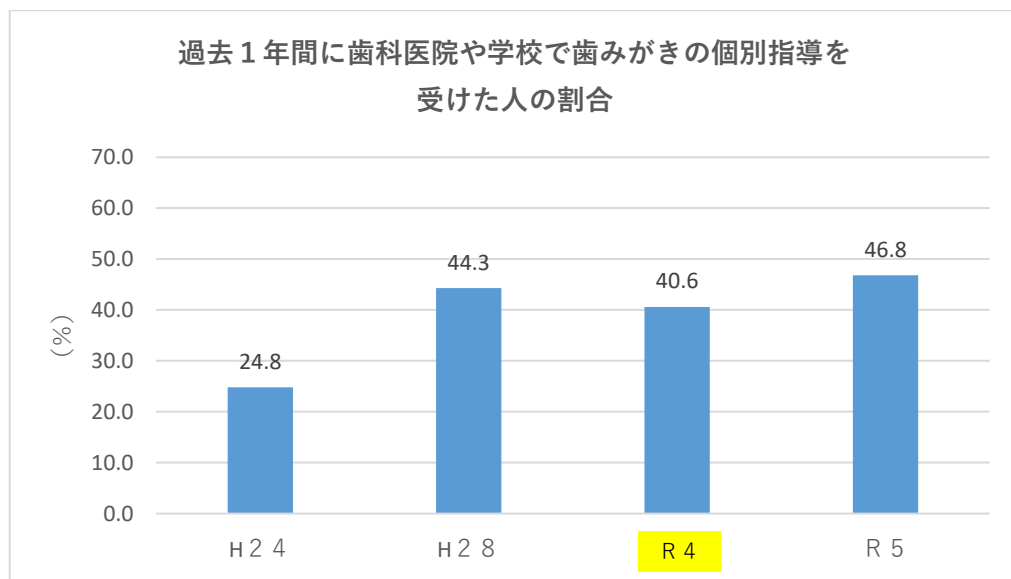
- ◆ 歯肉に異常のある人の割合は、令和5年度調査結果では減少したものの、令和6年度調査結果では再び増加となった。平成28年度調査においても同様に一時的に高い割合となったことがあり、こうした過去の状況を考慮すると、令和6年度の増加についても今後の経年的な推移を注視し、一時的なものかどうかを判断する必要がある。
- ◆ 全国平均を下回る状況が続いており、児童生徒や保護者に対する歯みがき指導や定期的な歯科受診の重要性の普及啓発について更なる取組が必要である。

達成指標	第3期ベースライン値	現状値 (最新値)	目標値	備考
12歳児における要治療・要精検児童生徒の受診率	37.8% (R4)	<b>40.0% (R5)</b>	60%以上	宮城県児童生徒の健康課題 統計調査 (宮城県教育委員会)



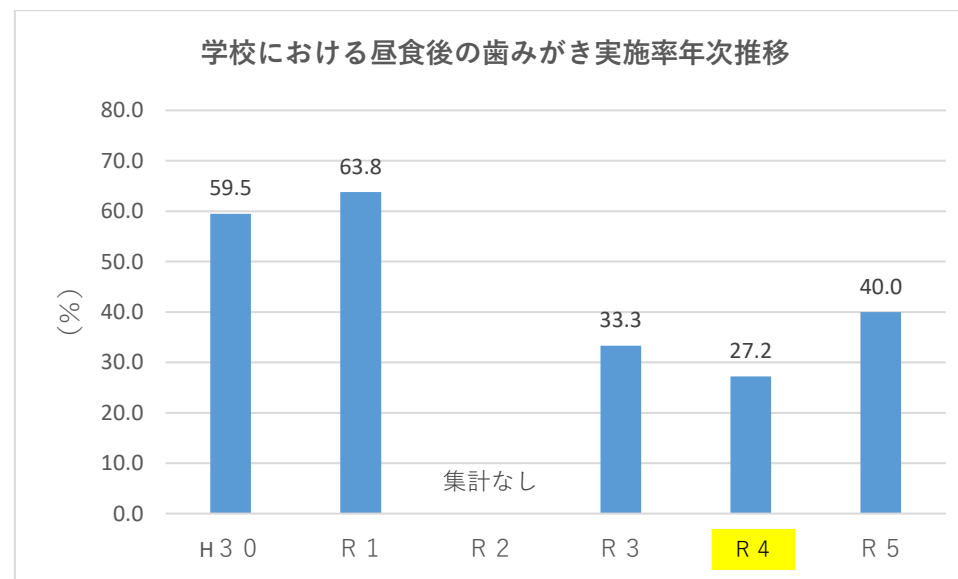
- ◆ 12歳児における要治療・要精検児童生徒の受診率は、令和5年度調査結果では40.0%と、令和4年度の数値から増加した。
- ◆ 横ばいの状況が続いており、歯科受診の重要性の普及啓発について更なる取組が必要である。

達成指標	第3期ベースライン 値	現状値 (最新値)	目標値	備考
過去1年間に歯科医院や学校で歯みがきの個別指導を受けた人の割合	44.9% (R4)	<b>46.8% (R5)</b>	63%以上	宮城県児童生徒の健康課題 統計調査 (宮城県教育委員会)



- ◆ 過去1年間に歯科医院や学校で歯みがきの個別指導を受けた人の割合は、令和5年度調査結果では46.8%と、令和4年度の数値から増加した。
- ◆ ほぼ横ばいの状況となっており、歯みがき指導の機会の創出について更なる取組が必要である。

達成指標	第3期ベースライン 値	現状値 (最新値)	目標値	備考
学校における昼食後の歯みがき実施率	27.2% (R4)	<b>40.0% (R5)</b>	78%以上	宮城県児童生徒の健康課題 統計調査 (宮城県教育委員会)



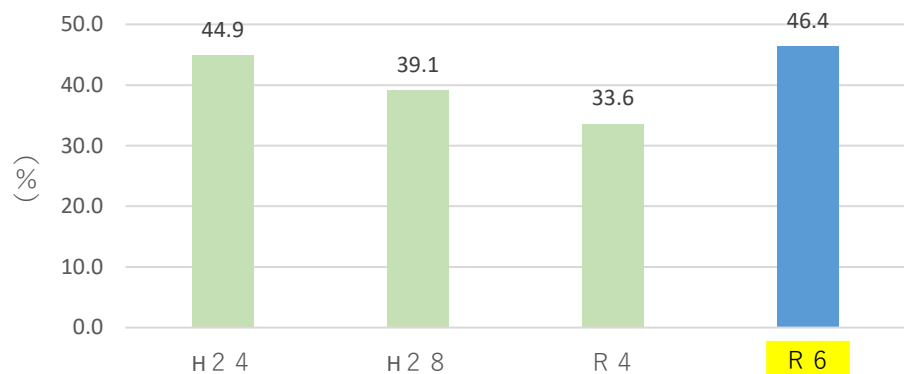
- ◆ 学校における昼食後の歯みがき実施率は、令和5年度調査結果では40.0%と、令和4年度の数値から増加した。
- ◆ 依然として新型コロナウイルスの流行前の水準からは低い数値となっており、学校で継続して歯みがきに取り組めるよう、更なる取組が必要である。

## 壮年期・高齢期

(概ね45歳以上)

達成指標	第3期ベースライン値	現状値 (最新値)	目標値	備考
要介護者が利用する施設での定期的な歯科検診実施率	46.4% (R6)	<b>46.4% (R6)</b>	50%以上	老人福祉施設及び障害福祉サービス事業所における歯と口腔の健康づくり取組状況調査(宮城県)

(参考) 定期的な歯科検診実施率推移



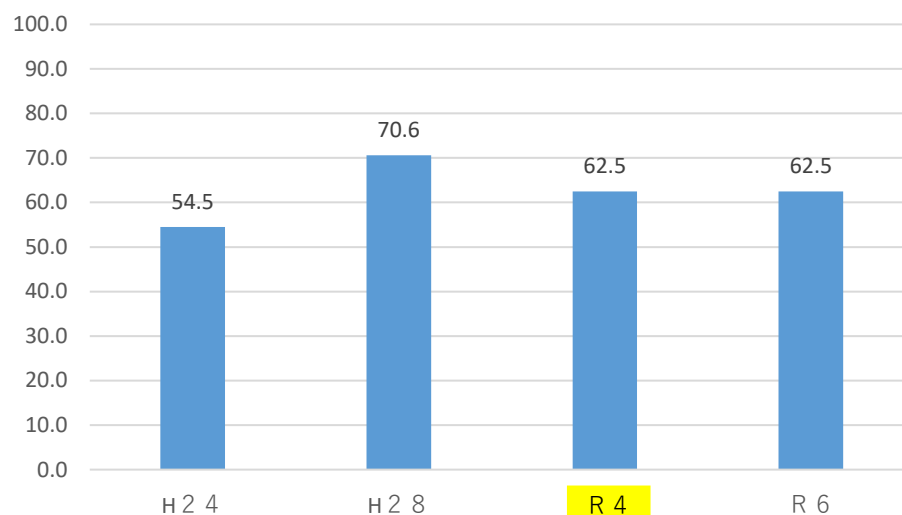
※令和4年度以前の調査と令和6年度調査で集計対象が異なる

- ◆ 第3期宮城県歯と口腔の健康づくり基本計画より指標の対象を「介護老人福祉施設」から「要介護者が利用する施設」と変更し、対象施設を拡大している。
- ◆ 令和6年度の調査の結果、定期的な歯科検診実施率は46.4%であった。

## 障がい児・者

達成指標	第3期ベースライン値	現状値 (最新値)	目標値	備考
障害児・者入所施設での定期的な歯科検診実施率	62.5% (R4)	<b>62.5% (R6)</b>	90%	老人福祉施設及び障害福祉サービス事業所における歯と口腔の健康づくり取組状況調査(宮城県)

(%) 障害児・者入所施設での定期的な歯科検診実施率推移



- ◆ 令和4年度と令和6年度の比較では、障害児・者入所施設での定期的な歯科検診実施率に増減はなかった。
- ◆ 実施率は横ばいとなっており、引き続き相談対応や協力歯科医療機関との連携体制の構築等の支援を継続していく必要がある。